

# 令和4年度（上期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

## 1. 基本情報

1002

施設名	伊丹市立音楽ホール（伊丹アイフォニックホール）		
施設の設置目的	音楽を中心とした文化事業の振興を図り、文化の発展に資する。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱： 市民力・にぎわい・活力 施策： 歴史・文化 主要施策： 芸術・文化活動の促進		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和 4年 4月 1日 ～ 令和 7年 3月 31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人 )	
	指標の意味	年間の施設来館者数	
	今年度の目標値	89,000	上期の実績値 39,183

## 2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H30	R元	R2	R3	R4 (上期)	R4 (通期)
	来館者数 (人)		121,875	113,389	105,570	43,790	63,726	39,183
貸し室稼働率 (%)		60	73	70	46	50	53	
延べ事業開催回数(回)		22	155	145	101	161	46	
延べ事業参加者数(人)		4,353	10,767	9,901	2,554	4,469	3,447	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

## 3. 経費情報

		区分	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022) 計画	令和4年度 (2022) 実績 (上期)
収入		使用料収入	9,672	18,496	19,270	10,609
		事業収入	2,886	2,469	6,996	3,514
		その他	7,078	3,417	0	0
		指定管理委託料	77,962	80,233	79,501	38,218
		①合計	97,598	104,615	105,767	52,341
支出	維持管理	光熱水費	8,541	10,065	10,944	6,945
		清掃等委託料	27,053	27,731	27,895	9,825
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	2,775	2,731	2,588	714
	運営	人件費	45,036	45,569	46,320	19,465
		事業等経費	8,546	10,174	16,628	6,550
		その他	1,241	1,365	1,392	477
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計	93,192	97,635	105,767	43,976	
純収支 (①-②)			4,406	6,980	0	8,365

			H29	H30	R元	R2	R3	R4
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入		3,657	3,093	2,973	11,448	3,281	1,241
	(内、使用料収入)		0	0	0	0	0	0
	市の支出		95,552	90,920	92,922	99,344	81,833	38,628
	(内、指定管理委託料)		76,940	78,617	80,120	77,962	80,233	38,218
	実質経費 (歳出-歳入)		91,895	87,827	89,949	87,896	78,552	37,387

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	館内を清潔に保ち、コロナ対策や改修工事(屋根)など、利用に影響を及ぼす事案に対しても市民の利便性や安全に配慮しながら、市とも連携して適切に対応した。	B	館内は常に清潔に保たれており、修繕等についても市に随時報告を行いながら適切に対処している。また屋根の改修工事期間中であっても利用者への安全を確保しつつ継続して事業を行っている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	接遇・障がい者対応・バスマット研修の他、他施設と共通課題に取り組むワケダグループを発足。防火管理有資格者を2名配置。	B	他施設と連携した研修を行い、人材育成に積極的に取り組んでいる。また、適切に有資格者を配置している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	消防避難訓練を上下期各1回ずつ、年2回実施している。	B	繰り返し訓練を行うことで職員の防災意識を高め、緊急時に備えた体制をとっている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	ウイズコロナの状況下で、育成団体のフォローや事業参加者および貸館利用者のアンケート結果に対し、制限と緩和のバランスを配慮した運営に取り組んだ。	B	コロナ禍の下、多くの利用者の意見を積極的に取り入れながら、緩和と制限の難しいバランスをとりつつ事業を行い、施設運営を継続している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	感染症対策を施した上で、計画通りの事業を開催した。	B	コロナ禍の下、適切な措置を講じ、計画に沿った事業を進めている。
		施設の設定目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	情報セキュリティ運用基準を遵守し情報を取り扱っている。ツイッターやフェイスブック広告などを活用した情報提供を行っている。	B	セキュリティに対する意識を高く持ち、情報の管理を適切に行うとともに、SNSを活用するなど即時性を重視し、情報の提供が効果的に行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	計画に基づきながら、適正に運営している。	B	計画に沿った事業が行われ、適正な経理処理がされている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「-」＝当該項目での評価対象外。

<b>施設所管課総評</b>	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される一方で、ウイズコロナを意識した事業の実施が求められる環境の下、利用者の意見を汲み取りながら制限と緩和のバランスに配慮した事業運営に取り組んでいる。また、屋根改修等、大がかりな改修工事の期間中、市と協議しながら利用者の安全を確保しつつ継続的に事業を遂行している。
<b>総合評価</b> B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和4年4月1日～令和4年9月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	館内の清掃は行き届き清潔に保たれていますか 「大変満足」「満足」90%	開館から30年以上が経過し各所に経年劣化が認められるが、計画的な修繕や美観・安全の維持に努め、利用者の利便性の向上に取り組んでまいります。
	職員の接遇態度はいかがでしたか 「大変満足」「満足」87%	お客様の目線に立った迅速・丁寧な接客、的確な情報提供を心掛け、満足度90%以上を目指します。
691	施設を利用している満足度はいかがですか 「大変満足」「満足」90%	現状に甘んじることなく、今後も利用者喜んでいただける施設、事業運営を目指します。
	練習室の利用制限(1時間空け・インターネット予約の停止)を緩和してほしい。	市や公文協の策定する感染症対策ガイドライン等の基準を参考に、対策と利用者の利便性のバランスを考慮しながら、緩和していく方向で検討しています。

### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置